

派遣前と派遣後での福島県に対する意識調査 調査結果（平成25年9月実施）

- 1 調査の目的：派遣前と派遣後の本県の印象の変化等を、復興の施策の参考とするため
- 2 調査対象：震災後、本県へ派遣された他自治体の職員（派遣中含む）
- 3 調査方法：派遣中の方には福島県メールアドレスへ、派遣元に戻られている方には『ふくしま“絆”通信』登録のメールアドレスへ、依頼メール送信により実施
- 4 サンプルング：依頼数340名 回収数180名 回収率52.9%
- 5 調査時期：平成25年9月17日（火）依頼（9月25日締切）



概 要

【全般】

- 派遣期間は、1か月ほどから数年間と幅はあるが、大まかには、福島県に実際に住むことによって、持つイメージに変化があったとの結果。

【震災・原発災害への印象】

- 派遣前から被害は大きいと感じていたものが、実際の被害は予想以上に大きかったと見られる結果。（津波被害が予想以上とする意見あり）

【放射能への印象】

- 実際に住み、理解することで、不安が小さくなったと見られる結果。

【復興の進捗状況への印象】

- 飲食業や観光業の復興状況については、派遣前の印象より進んでいるとの受け止めだが、全体としては、復興の姿の実感までには至っていないと見られる結果。

【福島県に対する印象（各項目）】

- 派遣前後で、農産物、観光、人柄に対して大きく好印象となっている。
- 一方、公共交通機関や道路網についての印象が低調。

【その他】

- 派遣を終えた後も、情報提供やつながりを希望する声。
- 福島県職員が、名物・名産を問われて回答できていないとする声。 など

<今後の取扱>

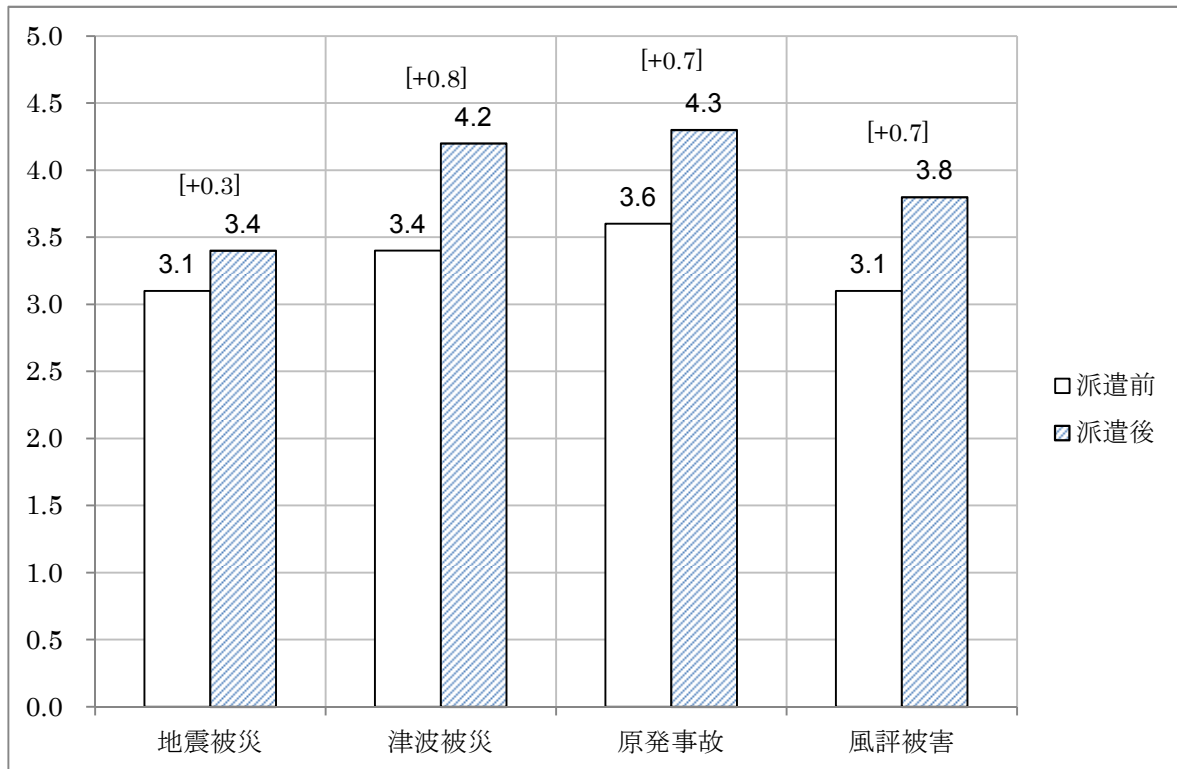
- 結果を全職員で共有し、弱みの克服や強みの拡大に活かす。
- 派遣で来られた職員は福島県を理解する応援団との意識で、全庁的には、現在取り組んでいるメールマガジン（平成25年度は6通配信）を継続的に実施する。

目 次

A	震災・原発災害への印象・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
B	放射能への印象・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
C	復興の進捗状況への印象・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
D	その他福島県に対する印象・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
E	派遣職員からのその他の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6

A 震災・原発災への印象

(0～5で回答の平均値：数値が大きいほど被害が大きいと感じている)

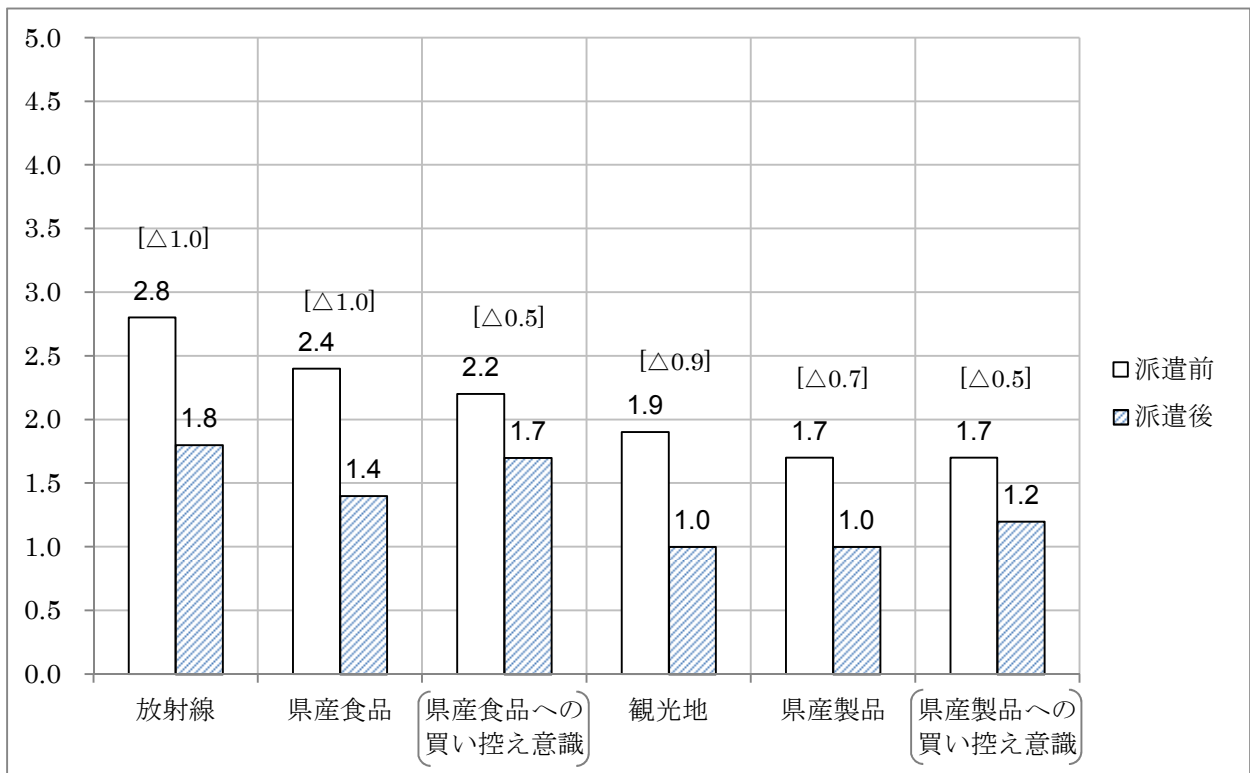


◆派遣前から全体的に数値が大きく、被害は大きいと感じていたが、派遣後は、全ての項目で数値が更に上昇しており、実際の被害は予想以上に大きかったと感じている。

【派遣職員の声】

- ・福島県の方と話していると、原子力災害のために、福島県に対する自信・誇りを過度に失っていると感じる時がある。**是非、誇りを持ってほしい。**
- ・福島県の災害対応を、**自分の県の防災の手本に**させていただく。
- ・福島県は、例えば磐梯山の噴火など、歴史的にも必ず復興を果たしている。**必ず復興できる。**
- ・原発、津波、震災、風評被害の問題とこれからの復興を福島県や被災自治体に負わせるものでは決してない。**同じ日本人として一丸となって取り組む。**
- ・福島県民の皆さんは、**想像できないほどの辛い思い**をされていることがわかった。
- ・震災以前の姿に戻ることは困難なこともあると思う。過去に戻ることを目指すのではなく、「**よりよい未来**」を創る思いが大事だ。
- ・目に見える被害、目に見えない被害の恐ろしさは、**言葉にならないものがある。**
- ・西日本に戻ってみると、福島にいたころと**問題の受け止め方に温度差**を感じる。過去のことになりつつある。
- ・放射能問題に津波が隠れてしまっていたが、**現実の津波被害を見て驚いた。**
- ・被災地の現状について、被災県とそれ以外とで感じるものが大きく違うと思う。私自身、**来て、見て、感じるものは大きく違った。**

B 放射能への印象 (0~5で回答の平均値：数値が大きいほど不安が大きい)



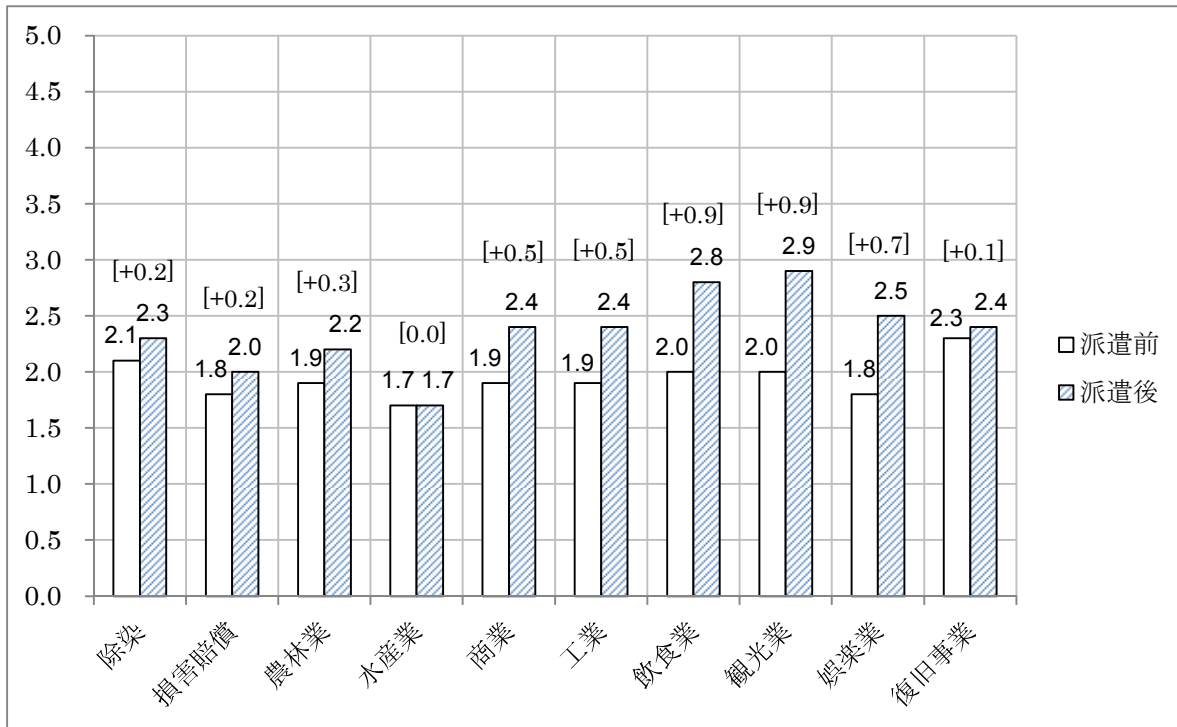
◆実際に福島県内に住み、理解することによって、不安が小さくなったとみられる。

【派遣職員の声】

- ・安全・安心、住みやすさのアピール、**安全宣言などが必要**である。
- ・復興状況や除染状況の見える化や発信、**徹底した情報公開**が必要である。
- ・**食の安全の見える化**や、**生産地に実際に来てもらう取組**、モニタリングが徹底していることのアピール、**食のおいしさのアピール**などが必要である。
- ・**来てもらう取組**や**復興メッセージの発信**、体験型観光、福島歴史・文化の発信が必要である。
- ・**原発事故の収束**や**汚染水対策**が必要である。
- ・これだけ**徹底して検査を行って市場に出している**という、**具体的な状況写真**を出して行くべき。
- ・100ベクレル未満が本当に**安全なのか**などの疑問に、**きちんと答える**こと。
- ・放射線被害の克服に取り組む**福島県民の「真心」の発信**が必要。
- ・原発事故が**収束していない**ことは、**きちんと伝える**べきだ。
- ・農林水産物の**モニタリング調査の継続**と、**検出せずという情報を継続して出す**こと。
- ・福島県がこんなことに頑張っていますということよりも、**普通に過ごしているという様子を発信**すべきだし、知りたい。
- ・放射能について心配が必要なのは一部の地域だけで、その他の地域は**安全であることを派遣元で説明**したい。

C 復興の進捗状況への印象

(0～5で回答の平均値：数値が大きいほど復興が進んでいると感じている)

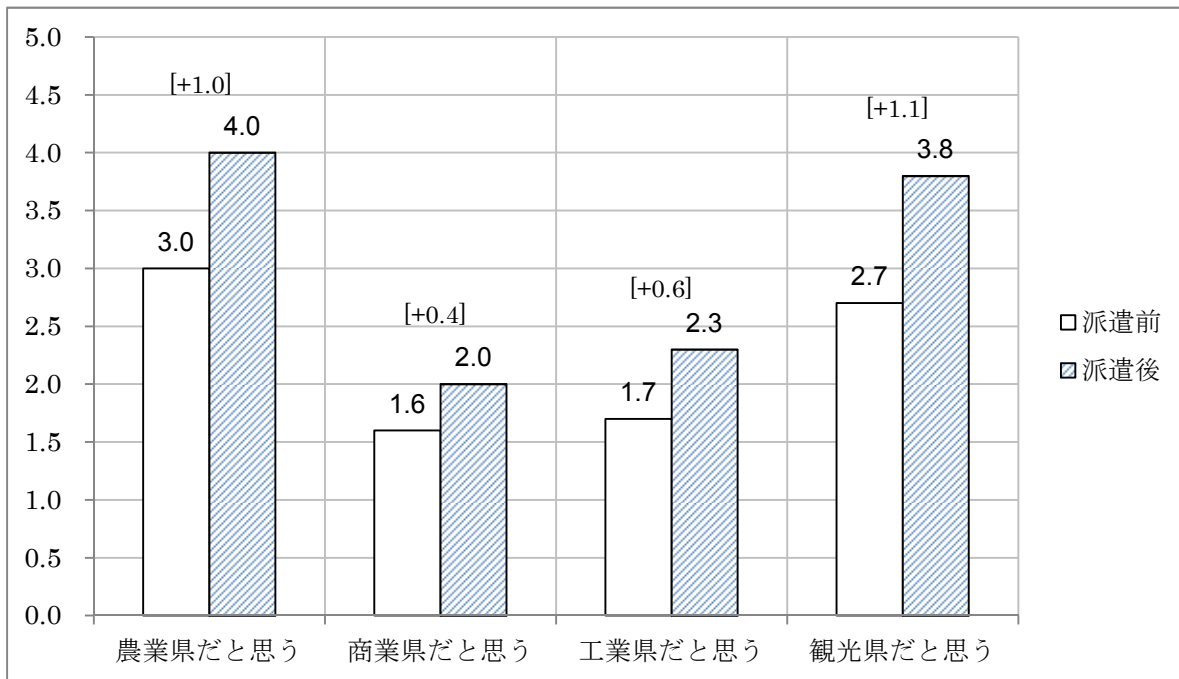


◆派遣後は、派遣前より数値が増加しているものの、全体的に低い数値に止まっており、まだ復興の途上であると感じている。飲食業や観光業に大きな上昇が見られるが、全体としては復興の姿の実感まで至っていないということかと思われる。

【派遣職員の声】

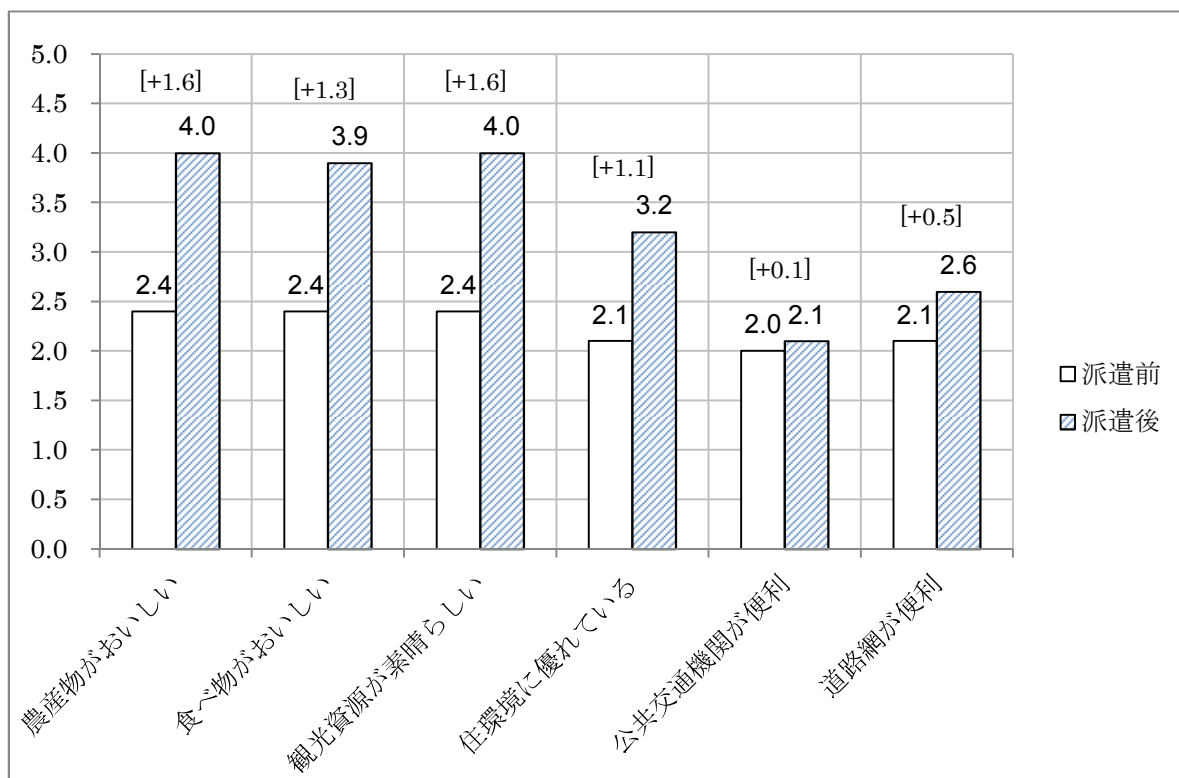
- ・被災自治体として、発災直後から、長期的な復興の推移に至るまでの**取組と検証結果を定期的に公表し続けてほしい**。
- ・震災や事故の**アーカイブ化**が必要である。
- ・浜通りへの道路アクセスの向上や、**道路網の整備が必要**である。
- ・**除染と生活保障のバランス**はきめ細かに検討する必要がある。
- ・インフラ整備等、**復旧・復興事業のスピード感がまだ足りない**と感じる。
- ・津波被災地の**災害復旧事業を最優先に進めるべき**。
- ・想像以上に**復興が進んでいない**。
- ・震災前の街が形成された歴史に対して、**復旧の進捗が速すぎる**。弱者（復旧作業従事者）に無理を強いている。

D-① その他福島県に対する印象（0～5で回答の平均値：数値が大きいほど印象が良い）



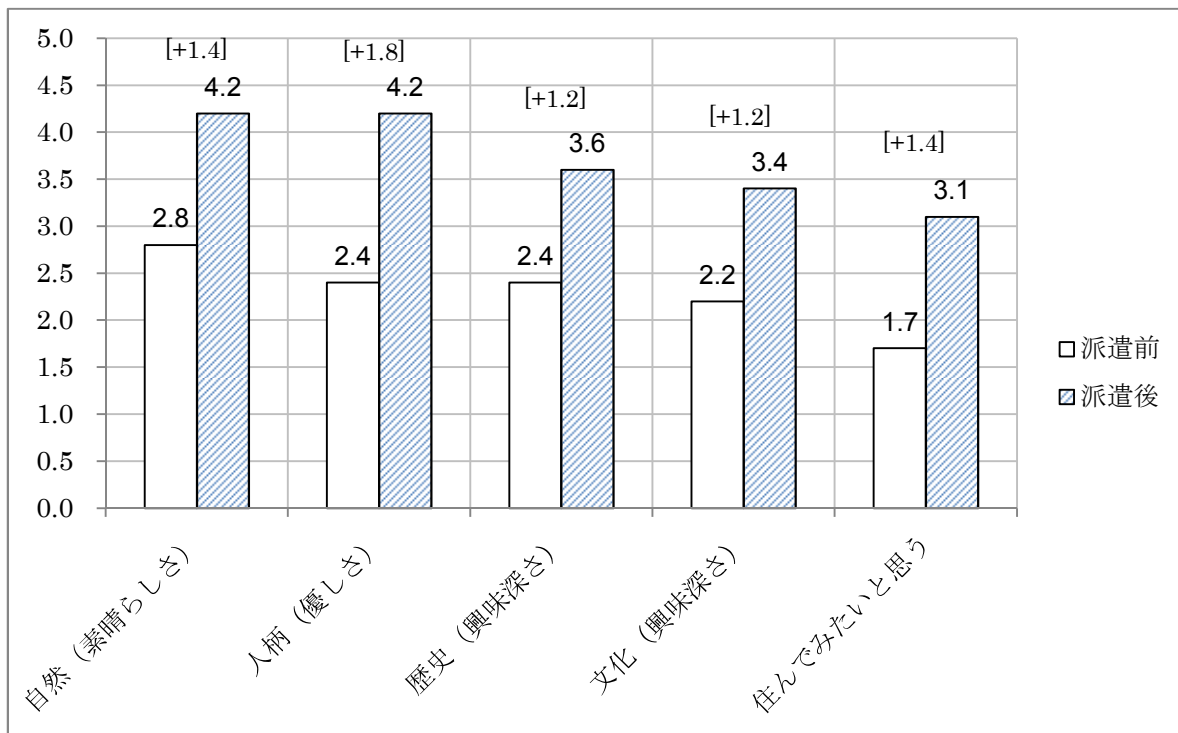
◆東北で一番の製造品出荷額を誇る本県だが、県土が広いためかその実感は小さいということかと思われる。また、農業県、観光県とのイメージが強いのは原発による風評と裏腹にある。この点の信頼を取り戻すこと（風評払拭）が重要ということかと思われる。

D-② その他福島県に対する印象（0～5で回答の平均値：数値が大きいほど印象が良い）



◆派遣後は、全ての項目で数値が上昇しているが、公共交通機関や道路網には課題があるとの実感かと思われる。本県は県土が広く、山間地も多いこと、横軸の移動に時間がかかることなどが原因と思われる。

D-③ その他福島県に対する印象（0～5で回答の平均値：数値が大きいほど印象が良い）



◆実際に住んでみて、良さが分かるということか。これをどう発信していくかが大切と思われる。

【派遣職員の声】

- ・福島県は農業県でもあり、観光県でもあり、浜通りは海が、会津は山や湖が、中通りは街が、**それぞれ特色がある**。(このことが「強みである」との意見と、「特徴がない」との両方の意見があった。)
- ・福島県は**どのような福島県になりたいのか見えない**。
- ・福島県は農工商すべてにおいて素材に恵まれている。**恵まれすぎていて日ごろの磨きをしなかったのではないか**。
- ・福島県の**名産・名物を問われて、回答できない状況**はどうか。
- ・南相馬から檜枝岐まで行こうとすると**5時間以上かかる**。これほど要するとは。
- ・**農産物や酒類等、非常に質が高いものが多い**と感じた。
- ・県内自慢の農業や戦国時代からの**歴史をもっと積極的に発信**すべき。
- ・もっと**全国から来てもらえるような、春夏秋冬ツアー**のようなものを企画すべき。
- ・人柄のよさは福島県に来なければわからない。その他の**魅力はもっともっと発信**ができるはずだ。

【福島県の良さを地元の方に紹介するとしたら???

- 1位：農産物のおいしさ… 45票
- 2位：お酒のおいしさ…… 19票
- 3位：温泉について……… 14票

※その他、観光地、自然、人柄の良さ、住みやすさ…。

E 派遣職員からのその他の意見

【派遣職員の言葉：アイデアや激励】

- ・東電福島第一原発を多くの人に見てもらえるようにすべき。
- ・農産物のTOKIOのCMは効果的で良かった。
- ・一緒に働いていて、県職員がもっと危機感を持つべきだと感じる時がある。
- ・過去に例のない困難な復旧・復興事業を推進するため、県の業務運営の効率化や組織体制の再構築、事務手続きの簡素化が必要だ。既存の枠組みに囚われている。
- ・せっかく福島県職員との縁ができた。福島県職員の側からもつながってもらいたい。
- ・離ればなれになっている福島県民を、IT等を使ってつなぐ仕組みが必要。
- ・海外の関係者を対象とした、現地における観光や農作物のPRが必要だ。
- ・災害ロボットの開発など産学官連携で実現を。
- ・派遣職員は元福島県職員。もっと活用して欲しい。帰ってからも我々が取り組めることを紹介してほしい。
- ・将来ふるさとを喪失してしまうかもしれないと考え、不安に思っている方が多いと思う。県としてそうさせないための道筋・見込みを示すことが必要だ。
- ・若者の県外流出を防ぐための若年者雇用対策が必要だ。
- ・県全体が浮き足立ってはいないか。きちんと説明することを徹底して欲しい。
- ・職員の頑張りも、長続きさせるのは困難では。心配である。
- ・復興のために限界を超えて頑張っている職員の姿は素晴らしいと思うが、自分自身の身体と心を大切にすることを忘れないでほしい。
- ・正確な情報の発信の次に、福島物産展の西日本での実施。
- ・オリンピックを活用した安全性等の情報発信。
- ・ネガティブな話題ではなく、早く福島本来の魅力にも注目が集まるよう願っている。

【福島県でもう一度訪れたいと思うところ】

- 1位：相双地方……………32票
- 2位：会津地方……………31票
- 3位：尾瀬……………17票
- 4位：いわき市……………16票
- 5位：相馬野馬追祭……………13票
- 6位：磐梯山……………10票

※その他、猪苗代湖、三春滝桜、花見山、鶴ヶ城…。「原発被災地の復興の姿」を見たいという声も。